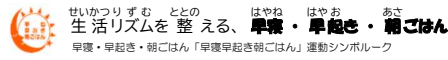


3月 給食だより

令和4年2月28日
練馬区立橋戸小学校
校長 青木 俊哉
栄養士 岡野 有紀

コロナ禍ということで「前向き」「黙食」での給食時間でしたが、ルールをきちんと守って良く食べていましたね。きっと、この一年で心も体も大きく成長したことでしょう。保護者の皆さま、今年度も給食運営へのご理解とご協力をありがとうございました。引き続き、安心・安全な給食を提供できるよう、職員一丸となって努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



6年生の皆さんは、いよいよ卒業…本校の給食ともお別れです。白々の給食から、どのようなことを感じ、学びましたか？体は、食べたものでできています。食べることを大切にすることは、自分自身を大切にすることにつながります。これからも、健康で充実した毎日を送ってほしいと願っています。

3月3日 ひな祭り

女の子の健やかな成長と幸せを願ってお祝いする「ひな祭り」。ひな人形や桃の花を飾り、ちらしやハマグリを潮汗などをいただきます。そして、ひな祭りのお菓子といえば、ひしもちとひなあられが代表的です。ひしもちは、ひし形をした「桃・白・緑」の3色のもちを重ねたものが定番で、ひなあられは、関東地方では米粒形の甘いポン菓子、関西地方では直径1cmくらいの丸形のあられが親しまれています。ほかに、全国各地にさまざまなお菓子がありますので、一部をご紹介します。

地域色あふれる ひな祭りのお菓子



身近なところから、食品ロスを減らそう

日本では、「毎日一人がお茶碗一杯分を捨てている」「25mプール16000杯分が捨てられている」積み重なったらものすごい量です。買ったけど食べきれなかった、賞味期限が切れた、売れ残ったから処分した、見栄えがよくなるよう切り落とした、きれいな商品にならないと売れない、食べ残した。理由はさまざまです。

「自分はそんなことしてないよ」でも・・・給食で残ってしまったのは・・・やっぱり食品ロスに。残ることが多いものは、魚、野菜の和え物、汁物、そして牛乳。苦手なもの、食べにくいもの、なんとなく食べたくないもの。時間だってない、量が多くて食べきれない！でも、あと一口、がんばってみよう。食べきれないだけ、よそってもらうことはできるのかな？準備も、もう少し早くできると食べきれないかな？おかわりはできる？工夫して減らせるといいね、食品ロス。



☆ 今月の献立より ☆

- ★2日・・・「竜田揚げ」は主に鶏肉や魚に、しょうゆやみりん、酒で下味をつけ、小麦粉や片栗粉などをまぶして揚げる料理で、ほんのり赤く仕上がります。赤い色からもみじを連想し、川の水面に浮かび流れるもみじの美しさを読んだ百人一首「ちはやぶる 神代もきかず 竜田川からくれないに水くるとは」の竜田川からきている、という説があります。
- ★3日・・・「ひな祭り」にちなみ、ちらしずしを出します。デザートは桃を使った「おかしな目玉焼き」です。
- ★14日・・・あげパンは、昭和27年頃、大田区の小学校の給食担当の職員が考えたとされています。風邪で休んだ児童に栄養をつけてもらうため、パンを持っていかせようと思い、時間がたって硬くなったパンをおいしく食べてもらうために油で揚げ、砂糖をまぶすことを考え付いたのだそうです。
- ★23日・・・この日で今年度の給食は最後です。卒業お祝い献立として、お赤飯・祝いの文字の入ったなるとのすまし汁を出します。
- ★6年生から給食のリクエストアンケートをとりました。3月の献立にも取り入れています。